

「国際連帯救援カンパ」にご協力ください。



JICHIRO
ALL-JAPAN PERFECTURAL
AND MUNICIPAL WORKERS UNION

2017年度

学校に一度も行っていない障害児童

男児：39.01%
女児：55.49%

ベトナムの障害者数

670万人
うち18%が18歳以下

カンボジアの
障害者数

19,2万人

ウズベク
障害者数

77万人

ベトナムで暴力的なしこしこを受けたことがある子どもの割合

74%

ともて明日へ

2017年度は、こんな活動を行います。

- 連合「愛のカンパ」への拠出
- エファジャパンの活動支援
- 地連・県本部の国際協力事業への支援
- 海外の自然災害への緊急支援
- 平和・人権・環境などの課題に取り組むNGOなどへの連帯・支援
- 労働組合弾圧に対する闘争支援
- 海外の労働組合組織化支援
- 戦争被災者・難民への支援
- 人身売買（トラフィッキング）防止と被害者支援
- 飢餓、疫病などへの緊急支援



ご協力ありがとうございました。

2016年度に寄せられた国際連帯カンパは
35,845,882円 となりました。

◎2016年度国際連帯カンパの主な使途

・ 連合愛のカンパ	12,000,000円
・ エファジャパンの2016年度活動支援金	15,000,000円
・ アムネスティ・インターナショナルへの支援	1,500,000円
・ DAWNへの活動支援	1,500,000円
・ 広報・事務費	963,231円

(会計年度と運動の取り組み期間が一致していないため、HPで公開している数字とズレがあります)

*詳細はHPでもご覧いただけます。

<http://www.jichiro.gr.jp/intr/contribution>

お問い合わせは：

総合企画総務局国際担当

TEL：03-3263-0264 E-mail：kokusai@jichiro.gr.jp

- ・ 障害児教室に通う子どもの学用品が1ヶ月分まかえます(ベトナム)。
- ・ 家事使用人として働く少女のために絵本を10冊買うことができます。(インドネシア)。
- ・ 15本の苗木を植えることができます(チアド)。
- ・ 砂漠に緑を取り戻すには、1haに100本の苗木が必要です。

500円で
できること



自治労の「国際連帯救援カンパ」は1991年に始まり、これまで難民救援や児童労働禁止

のキャンペーン、途上国の子どもたちの生活と教育の支援、労働組合権獲得や民主化のため

の支援などに活用してきました。世界の人口のおよそ5人に1人は、18歳以下で

生活していると言われています。貧困をなくし、すべての子どもたちが等しく、

当たり前の教育や医療を受け、自分の生き方を選択することができる社会を作り

出さねばなりません。自治労はこれからも、「平和・人権・環境」をキーワードに、

世界の労働者・市民と手を携えて、国際連帯・

協力活動に取り組んでいきます。

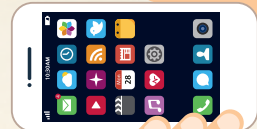
組合員の皆様の心のこもったカンパ

をお願いいたします。

みなさんからの支援が
“貧困をなくす未来”の支えになります。

あなたが「知ってくれる」ことが 明るい明日へつながります。

— 国際連帯救援カンパの支援報告 —



アムネスティの「労働組合アクション」を支援

スマートフォンに隠された真実

携帯電話やノートパソコンに欠かせない充電式リチウムイオンバッテリーの主な原料であるコバルトが、過酷な児童労働で採掘されていることは知られていません。国際連帯救援カンパは、その実態を調査・解明し、世界中に呼びかけ、それぞれの国で行動を起こす、アムネスティ・インターナショナルの「労働組合アクション」に活かされています。

コンゴのコバルト鉱山で何が起きている？

コバルトの世界産出量の50%を占めるのが、コンゴ民主共和国です。コンゴ産のコバルトの20%が同国南部で、手掘りで採掘されています。コンゴの採掘現場で働く子どもたちは4万人といわれており、その多くがコバルト採集に関わっています。子どもたちは鉱石を集め、選別、洗浄、粉砕し、自分の体重より重い鉱石を運ぶ作業に携わっています。1日12時間働いても報酬はわずか1〜2ドルです。子どもたちの安全と健康を脅かす採掘現場での労働は、「最悪の形態の児童労働」とされており、コンゴ政府は国際機関やNGOから、児童労働をなくすための対応が不十分であると批判を受けています。

「知らない」ではすまされない

あなたの携帯電話に使われている電池には、「児童労働」が含まれているかもしれません。携帯電話やノートパソコンを持たない生活をするのは難しい現状です。しかし、国際連帯救援カンパに協力することで、コンゴ政府に働きかけ、児童労働をなくす取り組みを支援することができます。あなたのワンコインのご協力をお願いします。

*アムネスティのHP上で、詳しく公開されています。

http://www.amnesty.or.jp/news/2016/0125_5817.html



ベトナム・ラオス・カンボジアの子どもの権利実現

エファジャパンの活動を通じて、アジアの子どもの権利を守る取り組みを続けています。



ベトナム／ハイフォン市の障害児教室への支援



ラオス／図書館・学校図書室設置、運営支援



カンボジア／国境地帯の寺子屋教室運営支援

エファ
ジャパンの
活動支援

エファジャパンは教育支援をとおして
アジアの子ども達の健やかな成長と
未来への希望を実現します



エファジャパンは
認定 NPO 法人になりました！
エファジャパンへの会費（正会員を除く）
その他の寄付金は税制優遇の対象
となります。詳しくはエファジャパンHP
をご覧ください。

子どもの権利を守る

1994年に自治労で始まった国際貢献活動を、エファジャパンが引き継いで12年が経ちました。様々な形で自治労からのご協力をいただきながら、ベトナム、ラオス、カンボジアで困難な状況にある子ども達の保護や教育など、子どもの権利を守る活動を継続しています。

主な事業

ベトナム	・ハイフォン市障害児教室運営支援 ・ソーシャルワークセンター支援 ・アジア子どもの家奨学金基金
ラオス	・コミュニティ図書館設立・運営支援 ・ヴィエンチャン市立図書館運営支援 ・ラオス図書館協会支援
カンボジア	・寺子屋教室運営支援 ・児童保護シェルター運営支援 ・国立幼稚園教員養成学校訓練生への奨学金事業

認定NPO法人エファジャパン

理事長 伊藤道雄 顧問 イーデス ハンソン
〒102-0074
東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階
TEL: 03-3263-0337
FAX: 03-3263-0338
E-mail: info@efa-japan.org
URL: <http://www.efa-japan.org>

